



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月13日

上場会社名 株式会社 ゴルフ・ドゥ
コード番号 3032 URL <http://www.golfdco.jp/>

上場取引所 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊東 龍也

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 並木 健二

TEL 048- 851- 3111

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	3,620	3.1	19	44.4	26	34.0	0	99.5
2019年3月期第3四半期	3,737	11.2	35	66.5	40	60.3	33	57.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 34百万円 (58.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	0.07	
2019年3月期第3四半期	13.71	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	2,450	323	13.2	132.29
2019年3月期	2,554	324	12.7	132.72

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 322百万円 2019年3月期 324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,217	6.7	65		65		46		18.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	2,540,642 株	2019年3月期	2,540,642 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	99,200 株	2019年3月期	99,200 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	2,441,442 株	2019年3月期3Q	2,441,442 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
売上高前年対比等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国経済の減速や台風による甚大な被害などの影響により、企業業績に回復の鈍化や停滞が見られますが、依然と緩やかな回復基調を維持しております。また、消費税増税による個人消費の減少が懸念材料として残るものの、その影響は限定的と見込まれております。海外においては、米国経済が活況な個人消費により底堅く推移し、世界経済をも支えておりますが、中東情勢の混迷や中国経済の減速を受け、世界経済には先行き不透明感が増しております。

リユース市場においては、市場の拡大傾向が続くものの、フリマアプリの利用増加などによる事業環境の変化により、倒産やリユース企業間による買収が増加しております。

ゴルフ用品市場においては、夏の猛暑期間が短く、台風が甚大な被害をもたらした10月以外は比較的ゴルフアールにとり恵まれた気候で推移し、渋野日向子選手の海外メジャー選手権優勝やタイガー・ウッズ選手の日本初開催となるPGAツアートーナメント優勝という大きな話題、12月には人気ブランドのNEWモデル発売もあり、消費税増税という下押し要因はあるものの、当期を通して見れば悪い市場環境ではありませんでした。しかしながら、ゴルフ用品市場のリユース品に限りますと、実店舗及びEC店舗にフリマアプリを加えた熾烈な競争が一層過熱しております。なお、株式会社矢野経済研究所「YPSゴルフデータ」によりますと、10月～12月の新品クラブ及びボールなど用品類の販売は、10月が台風の影響により大幅な需要減退となり軒並み前年実績を下回り、11月も大半のカテゴリーで前年実績を下回っておりますが、12月は人気ブランドのNEWモデル発売効果もあり、ウッド及びアイアンは数量、金額ともに前年実績を大幅に上回っております。

ゴルフ場及び練習場においては、経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によりますと、10月～12月の利用者数前年同月比が、ゴルフ場は10月98.2%、11月99.9%、12月101.4%、練習場は10月95.7%、11月99.7%、12月105.2%でした。10月は消費税増税に加え台風の影響が大きいものと推測され、11月は土日祝日が前年実績を上回るも平日が苦戦した模様で、12月は逆に平日が前年実績を上回るも土日が苦戦した模様です。

このような経営環境のなか、当社グループでは一刻も早い業績回復に向け取り組んでおりますが、依然と業績回復は道半ばの状況であります。なお、業績回復と今後の発展のための成長戦略として「オムニチャンネル戦略」の実現を目指しておりますが、その中枢チャンネルであるECサイトの再構築を現在の最優先事項として準備を進めております。また、新規事業として4月にアパレル事業の第1号店を開店しましたところ、第3四半期に入り当社グループ業績に貢献する兆しが見えてまいりました。

直営事業においては、10月の台風の影響が大きく及んでおり、当四半期連結会計期間の既存店購入客数は第2四半期連結会計期間から一変して前年実績を下回り、業績回復に水を差された格好となりました。また、お客様のニーズを呼び起こす企画提案が弱かったことや買取りが前年実績を下回ったことも業績低迷の一要因であります。しかしながら、粗利率の改善は継続しており、徐々に利益面への貢献度が大きくなっております。なお、当第3四半期連結累計期間の「ゴルフ・ドゥ！」直営店の売上高前年増減率は、全店ベースで6.3%減、既存店ベースで8.1%減となりました。

フランチャイズ事業においては、9月に開店と閉店が1店舗ずつありましたが、当四半期連結会計期間に開店及び閉店はありませんでした。既存店では買取りが苦戦していることにより在庫が減少し、店舗売上高及びそれに伴うロイヤリティ収入へ影響が及んでおります。また、関東地方が中心の直営店ほどではありませんが、10月の台風の影響は小さくありませんでした。なお、当第3四半期連結累計期間の「ゴルフ・ドゥ！」フランチャイズ店の売上高前年増減率は、全店ベースで3.0%減、既存店ベースで4.1%減となりました。

2019年12月31日現在の「ゴルフ・ドゥ！」は、直営店が20店舗、フランチャイズ店が59店舗で合計79店舗です。

営業販売事業においては、国内ECモールに出店している「GOLF J-WINGS」が好調であるものの、対照的に需要が低迷している国内の卸営業は厳しい状況が続いております。

アパレル事業においては、4月に「シューラルーイオン栃木店」(栃木県栃木市)を開店し、11月及び12月は単月ベースで黒字になりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は売上高36億20百万円(前年同四半期比3.1%減)、営業利益19百万円(同44.4%減)、経常利益26百万円(同34.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益0百万円(同99.5%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は、次のとおりであります。なお、2019年4月にアパレル事業として「シューラルー」の展開を開始したため、当連結会計年度より同事業を報告セグメントに追加しております。

（直営事業）

当第3四半期連結累計期間における直営事業の売上高は23億77百万円（前年同四半期比6.0%減）、セグメント利益は79百万円（同62.2%増）となりました。

（フランチャイズ事業）

当第3四半期連結累計期間におけるフランチャイズ事業の売上高は3億50百万円（前年同四半期比3.4%増）、セグメント利益は1億5百万円（同16.1%減）となりました。

（営業販売事業）

当第3四半期連結累計期間における営業販売事業の売上高は8億53百万円（前年同四半期比1.8%減）、セグメント利益は33百万円（同30.8%減）となりました。

（アパレル事業）

当第3四半期連結累計期間におけるアパレル事業の売上高は39百万円、セグメント損失は4百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1億4百万円の減少となり、24億50百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1億23百万円の減少となり、17億79百万円となりました。これは主に商品が72百万円、現金及び預金が57百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ20百万円の増加となり、6億69百万円となりました。これは主に無形固定資産が43百万円増加したことによるものです。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1億2百万円の減少となり、21億27百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ83百万円の減少となり、14億97百万円となりました。これは主に買掛金が37百万円、その他流動負債に含まれる未払消費税等が24百万円、1年内返済予定の長期借入金が14百万円減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ19百万円の減少となり、6億29百万円となりました。これは主に社債が20百万円減少したことによるものです。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1百万円の減少となり、3億23百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定が1百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は13.2%（前連結会計年度末は12.7%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月20日に公表いたしました2020年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	500,515	442,776
売掛金	304,427	324,111
商品	1,032,097	959,537
短期貸付金	38,795	14,392
その他	59,798	46,575
貸倒引当金	△32,130	△7,612
流動資産合計	1,903,503	1,779,781
固定資産		
有形固定資産	241,760	251,907
無形固定資産	30,258	73,649
投資その他の資産		
投資有価証券	19,000	17,683
長期貸付金	293,119	306,940
敷金及び保証金	160,987	161,089
建設協力金	76,158	67,487
繰延税金資産	30,401	12,268
その他	26,377	26,434
貸倒引当金	△229,048	△248,433
投資その他の資産合計	376,994	343,470
固定資産合計	649,013	669,027
繰延資産		
社債発行費	1,887	1,578
繰延資産合計	1,887	1,578
資産合計	2,554,404	2,450,387
負債の部		
流動負債		
買掛金	292,515	254,877
短期借入金	800,000	800,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	220,360	205,888
未払法人税等	6,213	9,876
賞与引当金	18,781	9,948
ポイント引当金	35,022	37,770
株主優待引当金	12,669	3,775
その他	175,757	155,762
流動負債合計	1,581,318	1,497,897
固定負債		
社債	80,000	60,000
長期借入金	342,226	333,578
退職給付に係る負債	123,262	124,477
資産除去債務	46,255	56,722
その他	57,161	54,577
固定負債合計	648,905	629,355
負債合計	2,230,223	2,127,253

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	506,120	506,120
資本剰余金	159,523	159,523
利益剰余金	△281,605	△281,441
自己株式	△98,208	△98,208
株主資本合計	285,830	285,994
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,746	2,431
為替換算調整勘定	36,450	34,561
その他の包括利益累計額合計	38,196	36,992
新株予約権	153	146
純資産合計	324,181	323,133
負債純資産合計	2,554,404	2,450,387

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	3,737,294	3,620,321
売上原価	2,433,799	2,313,219
売上総利益	1,303,495	1,307,102
販売費及び一般管理費	1,268,202	1,287,462
営業利益	35,292	19,639
営業外収益		
受取利息及び配当金	6,258	6,484
受取手数料	4,193	4,539
為替差益	991	25
貸倒引当金戻入額	—	5,132
その他	692	1,339
営業外収益合計	12,135	17,521
営業外費用		
支払利息	6,526	9,727
その他	515	769
営業外費用合計	7,042	10,497
経常利益	40,385	26,663
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4,674	—
特別利益合計	4,674	—
税金等調整前四半期純利益	45,059	26,663
法人税、住民税及び事業税	12,262	8,124
法人税等調整額	△666	18,374
法人税等合計	11,596	26,499
四半期純利益	33,462	164
親会社株主に帰属する四半期純利益	33,462	164

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	33,462	164
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,049	685
為替換算調整勘定	6,098	△1,888
その他の包括利益合計	1,048	△1,203
四半期包括利益	34,511	△1,039
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,511	△1,039
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2018年4月1日至2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	直営	フランチャイズ	営業販売	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,529,495	338,759	869,038	3,737,294	—	—	3,737,294
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	12,165	△12,165	—
計	2,529,495	338,759	869,038	3,737,294	12,165	△12,165	3,737,294
セグメント利益	49,149	125,492	47,946	222,588	790	△188,086	35,292

- (注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない広告代理店事業であります。
 2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自2019年4月1日至2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計			
売上高								
外部顧客への売上高	2,377,588	350,372	853,268	39,092	3,620,321	—	—	3,620,321
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	5,140	△5,140	—
計	2,377,588	350,372	853,268	39,092	3,620,321	5,140	△5,140	3,620,321
セグメント利益又は 損失(△)	79,706	105,339	33,201	△4,417	213,830	141	△194,332	19,639

- (注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない広告代理店事業であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2019年4月にアパレル事業の「シューラルー」の展開を開始したため、当連結会計年度より同事業を報告セグメントに追加しております。

3. 補足情報

売上高前年対比等

当第3四半期連結累計期間における「ゴルフ・ドゥ！」店舗売上高前年対比は、以下のとおりであります。

	2019年10月	2019年11月	2019年12月	第3四半期合計 (10月～12月)	第3四半期累計 (4月～12月)
ゴルフ・ドゥ！ 全店	91.3%	90.1%	99.0%	93.5%	95.7%
ゴルフ・ドゥ！ 既存店	90.4%	90.8%	99.3%	93.5%	94.3%
直営店 全店	88.4%	88.2%	97.3%	91.2%	93.7%
直営店 既存店	86.5%	87.7%	96.9%	90.3%	91.9%
FC店 全店	93.2%	91.3%	100.1%	94.9%	97.0%
FC店 既存店	93.1%	92.9%	100.8%	95.7%	95.9%

当第3四半期連結累計期間における「ゴルフ・ドゥ！オンラインショップ」売上高前年対比、アクセス数前年対比、会員数（累計）、会員数前年増加率は、以下のとおりであります。

	2019年10月	2019年11月	2019年12月	第3四半期合計 (10月～12月)	第3四半期累計 (4月～12月)
売上高前年対比	83.8%	83.4%	93.3%	86.8%	89.3%
アクセス数前年対比	82.6%	83.5%	86.4%	84.1%	86.9%
会員数（合計）					311千人
会員数前年増加率					107.7%

（注）会員数は「ゴルフ・ドゥ！オンラインショップ」の会員数であり、「ゴルフ・ドゥ！」店舗の会員数とは異なります。